

## 「高知県橋梁会平成 21 年度第 2 回研修会」報告

高知県橋梁会理事 武内 豊

土木学会四国支部と高知県橋梁会の共催による平成 21 年度第 2 回研修会が、高知市本町にある高知会館の「飛鳥の間」で 8 月 26 日(火)に開催された。

8 月 9 日の台風 9 号の影響で、高知県の中部から西部にかけて災害が発生しており、橋梁会の会員は災害復旧の調査設計に追われる多忙な時期であったが、それでも 42 名の参加者があった。

元建設省近畿地方建設局長で現在参議院議員として活躍されている脇雅史先生が来高される日程と今回の橋梁会が偶然一致したので、ご無理をお願いして脇雅史先生に特別講演をしていただいた。



受付状況

研修会(13:30 ~ 17:00)



研修会に先立ち、高知県橋梁会会長の右城猛氏から開会の挨拶があった。



司会を担当した高知県橋梁会理事の武内豊氏



参議院議員の脇雅史先生から「公共事業の展望」と題して特別講演があった。公共事業の必要性、地方における建設会社の重要性についてお話しをいただいた。(13:30 ~ 13:50)



(株)エスイーの中井督介氏により「外ケーブル工法による橋梁補強工法」と題し、既設構造物の補強工法には数種類の工法があることを、施工例を示しながら具体的な説明があった。(13:50~14:25)



(株)第一コンサルタンツの兵頭学氏からは「木造建物へのオイルダンパーの最適配置」と題し、今後予想される大地震に備えて木造住宅のオイルダンパーによる補強についての研究報告があった。この研究は、早稲田大学の卒業論文で取り組まれたものである。(14:37~14:50)



熱心に聴講する 42 名の参加者。



(株)四国総合研究所の中川裕之氏により、「コンクリートの劣化診断法」と題し、鉄筋コンクリートの劣化予測、評価により、対策の判定と実施についての詳しい説明があった。この研究は香川大学の博士後期課程で取り組まれたもので、香川大学から博士(工学)の学位を授与されている。(14:50~15:35)



(株)第一コンサルタンツの伊藤哲也氏から「橋梁部材の振動損傷診断に関する基礎研究」と題し、ハンマリングによる橋梁点検業務の効率化についての研究報告があった。この研究は、長崎大学の卒業論文で取り組まれたものである。(14:25~14:37)



四国地方整備局企画部防災対策官の藤川昌幸氏により「建設業のBCPについて」と題し、国土交通省の取組み状況や、災害時の事業継続力の認定企業への総合評価方式での加点評価について説明があった。(15:45～16:40)

## 反省会



研修会終了後、高知新阪急ホテルの屋上ビアガーデンに席を移し、講師と高知県橋梁会理事による反省会が開かれた。



(株)相愛の中村和弘氏(元高知県橋梁会副会長)より「フランスの感想」と題した旅行写真の紹介をして頂いた。(16:40～17:05)



反省会の二次会は、いつもの居酒屋「赤たぬき」。



吉田幸男橋梁会副会長による閉会の挨拶(17:05)